

造形的な

見方  
考え方

って何？

新しい学習指導要領のキーワードに「造形的な見方・考え方」があります。しかし、そもそも「造形的な見方・考え方」とはどういったものなのでしょう？そしてそれを働かせている子どもの姿とは、具体的にはどのような姿を指すのでしょうか？…不安に感じていらっしゃる先生方も多いことでしょう。

そこで、今回のセミナーは「造形的な見方・考え方」をテーマに、ご参会いただいた先生方と共に考え、話し合い、実感する、そんな時間にしていきたいと思っております。

多くの先生方のご参会を心よりお待ちしております。



講師

早稲田大学 教育・総合科学学術院 准教授

大泉 義一先生

〔おおいずみ よしいち〕

1968年、東京都生まれ。公立中学校、東京学芸大学附属竹早小学校教諭、北海道教育大学助教授、横浜国立大学教育学部准教授を経て、現職。学習指導要領の改善協力者(平成20年・29年告示小学校図画工作)。主な著書に『子どものデザイン -その原理と実践』(2017年、日本文教出版)、『図画工作・美術科の授業における教師の発話に関する実践研究・Ⅶ:小学校、中学校、高等学校の授業比較分析から』(2019年、『美術教育学』第40号)などがある。子どものためのデザイン教育実践としての巡回型造形ワークショップ・プログラム「アートツール・キャラバン」を学生とともに展開している(第5回キッズデザイン賞フューチャーアクション部門受賞、2011年、キッズデザイン協議会)。

2019

11

30

SATURDAY

13:00~17:00 (受付12:30~)

開催会場

イオンモール名取

尚絅学院大学地域連携交流プラザ

※裏面に詳細地図がございます。

主催：公益財団法人 日本文化教育振興財団

共催：尚絅学院大学造形センター

◎お問合せ先 尚絅学院大学 学校教育学類 准教授 相馬 亮 ☎022-381-3368 ✉r\_souma@shokei.ac.jp

本セミナー案内およびお申込方法は裏面をご覧ください。